

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：京田辺市

プロジェクト名	絆による安全・安心、減災プロジェクト		実施期間	平成29年度～令和2年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>近年、豪雨や台風により全国各地で甚大な被害を受けているところである。本市に流れる河川のそのほとんどが天井川を形成しており、その多くが住宅密集地を流れている。そのため、決壊が発生した場合、隣接の住家等に壊滅的な被害を及ぼす恐れがあり、行政として河川の増水・氾濫による危険性から市民の生命・生活を守ることとともに、市民との協働による住民避難等のソフト対策を一体的に取り組む必要がある。平成26年度に策定した、避難所の開設手順や運営ポイント等の基本事項をとりまとめた「避難所運営基本マニュアル」を基に、地域の特性や実情に応じた地域版防災マップの策定を進める。また、指定避難所である市立中学校体育館の大規模改修を行うとともに、避難時に支援が必要となる障がい者や要介護者、一人ぐらし高齢者等の情報を、住基システムや介護システムと連携し、一元管理できるシステムを導入し、災害時に関係機関と共有できる体制を構築することで、災害に強いまちづくりを目指す。</p> <p>平成24年4月以降、全国で通学路における児童生徒が死傷する事故が相次いで発生していることを受け、文科省、国交省、警察庁が連携・協力し、通学路の安全確保に関する取り組みを実施している。本市においても、平成25年に「京田辺市通学路安全推進会議」を設置し、翌年示した、京田辺市通学路安全推進会議活動指針に基づき、学校、PTA、学校安全ボランティア、警察等、関係機関と連携し、定期的に通学路の安全点検を実施し、対策必要箇所については対策を講じているが、引き続き対策内容の更なる改善、充実に努める必要がある。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>災害発生時の当事者となる地域住民と行政が一体となった避難所の体制強化、避難所運営マニュアルの作成、詳細な災害情報の相互提供や、災害発生に備えた救助体制の強化により、地域防災力を向上し、災害に強いまちを目指すもの。 加えて、緊急的な避難や応急対策、復旧・復興の拠点となる新たな防災拠点の整備を進める。</p>							
	総事業費（千円）	374,279	本年度事業費（千円）	209,931	交付金額（千円）	19,416		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	避難行動要支援者名簿台帳システム導入	交付対象事業	災害発生時に必要な要援護対象者情報を一元管理できるシステムを導入するもの。			導入完了		
	消防車両等購入事業	関連事業	地域住民の安全を守るため、災害対応特殊消防ポンプ自動車及び消防団小型動力ポンプ付積載車の整備を行う。			消防車両1台、消防団車両2台、小型動力ポンプ2台整備		
	耐震性貯水槽整備事業	関連事業	市内の公園や公共用地に耐震性の防火水槽を設置するもの。			耐震性貯水槽の設置：2基 耐震性貯水槽設置に伴う測量設計：1基		
	田辺中学校屋内体育館防災機能強化事業	交付対象事業	屋根および内外壁の大規模改修を行い、指定避難所としての防災機能を強化し、市民、避難者の安全安心を確保するもの。			完了		
住民協働事業	避難行動・避難所運営訓練事業	関連事業	地域参加型の避難所疑似体験による訓練を実施			市内2箇所において実施		
	避難所運営個別地区マニュアル策定事業	交付対象事業	各地域事情に応じた避難所単位でのマニュアルを策定			倍良中学校における運営マニュアルを策定		
	地域版防災マップ（水害）作成事業	交付対象事業	地域住民が中心となって避難場所や避難ルートなどを設定し地域版の防災マップを作成することにより、防災意識と地域防災力の高揚を図るもの。30年度は、二又区で新規策定する。			作成完了		
	地域版防災マップ（土砂災害）作成事業	交付対象事業	大雨やゲリラ豪雨により、市域に甚大な土砂災害が発生することに備え、適切なタイミングで住民等が避難できるよう、警戒すべき区域、避難対象、避難場所、ルートや避難方法などを地域毎に明示するもの。			作成完了		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：京田辺市

	自主防災組織設置・育成事業	交付対象事業	災害時に避難誘導や救命救助、情報収集など、多様な役割を担う自主防災組織の設置・育成支援を行い、補助金を交付するもの。	26組織を対象に助成を実施	
	ゾーン30設定地区内路面標示設置事業	交付対象事業	歩行者や児童・生徒の通学時の安全な通行を確保するため、ゾーン30及び区画線カラー舗装等の路線標示を行う。	市内通学路においてカラー塗装を実施	
住民が取り組む事業	きょうたなべし減災プロジェクト	関連事業	市民が観測した情報や被害情報をウェブサイトに掲載・閲覧することで情報共有し、災害による被害を減らすもの。	情報環境の整備	
成果指標①	成果指標の目標数値	地域版防災マップ（水害）新規作成件数：2件 地域版防災マップ（土砂災害）：1件		成果指標の実績値 （平成31年3月31日時点）	地域版防災マップ（水害）新規作成件数：2件 地域版防災マップ（土砂災害）：1件
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	計画どおりの作成ができているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値			成果指標の実績値 （○年○月○日時点）	
	成果指標の達成状況		（左の理由）		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	防災マップ作成だけでなく、地域も一体となって防災に対する取組を行うことで、安心・安全の向上が図れた。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	防災マップの作成や避難所運営訓練等を通じて、地域住民の防災意識をさらに高めることができ、災害に強いまちづくりの推進をさらに効果的に進めることができる。			
	府と市町村等との連携に資する成果				
	住民の自治意識を高める成果	自主防災組織の育成を進めることで、災害時における地域住民内での互助意識を高めることができる。			
	リーディング・モデル成果	土砂災害に係る防災マップの整備を行うことで、災害に強いまちづくりをさらに進めることができる。			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：京田辺市

	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	